

# 『中小企業景況調査概況』

福井県信用保証協会では、協会利用企業者の現状を把握し中小企業の経営をサポートするため、景況調査を実施しましたので調査結果をお知らせいたします。

(当協会の利用企業は従業員20人以下の企業が9割以上を占めています。)

## 【概要】

- ・ 今回調査における中小企業の景況感は、「仕入価格」を除く全ての項目で前回(平成30年10～12月)調査より悪化し、厳しい状況となった
- ・ 来期(令和元年7～9月)については、全ての項目で悪化を予想。「売上・受注の減少」、「人手不足」を経営上の問題点として挙げる企業が依然として多く見られるほか、米中貿易摩擦や消費増税による影響も懸念されることから、先行きの不透明な経営環境が続くものと見込まれる

## 【保証動向】[令和元年度(平成31年4月～令和元年6月末)]

- ・ 令和元年度(平成31年4月～令和元年6月末)の保証動向について、保証承諾額は前年比33.0%と減少した。昨年度において、平成30年2月の大雪の影響による保証承諾が大きく増加したことが、当期における保証承諾減少の大きな要因となった
- ・ 代位弁済は、前年比42.1%と減少。しかしながら、条件変更による返済緩和と債権の残高は依然として高水準で推移しており、予断を許さない状況にある

## 【企業の声】

- ・ 人手不足で、従業員の高齢化も進んできている
- ・ 売上減少への不安が大きい
- ・ 消費税増税後の商品の動きが心配
- ・ 働き方改革による時短への対応に苦慮している

## 【景況アンケート】[当協会利用の1000企業を対象に実施、329企業が回答(回答率32.9%)]

- ・ 今期(平成31年4月～令和元年6月)においては、仕入価格DIを除く全ての項目で悪化、厳しい状況となった
- ・ 来期は全ての項目で悪化が予想される
- ・ 経営上の問題点としては、「売上・受注の減少」、「人手不足」を挙げる企業が多く見受けられた